

# きゅうしゅう

No.13

編集・発行

九州防衛局 総務部

福岡市博多区博多駅東  
2丁目10-7  
福岡第2合同庁舎内  
092-483-8811



陸上自衛隊健軍駐屯地を視察する北澤俊美防衛大臣



155ミリりゅう弾砲による実弾射撃訓練を行う米海兵隊  
～ 日出生台演習場より ～



155ミリりゅう弾砲

## Contents

- ◆1 日出生台演習場における沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施について
- ◆2 北澤俊美防衛大臣九州地区管内視察
- ◆3 防衛問題セミナーについて
- ◆4 日米共同方面隊指揮所演習について
- ◆5 インフォメーション



九州防衛局 Kyushu Defense Bureau



<http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>

第12海兵連隊第3大隊ミアガニー大隊長から  
 “日出生台演習場での訓練を終えて”と題しコメントを頂きました。



On behalf of 3rd Battalion, 12th Marine Regiment, I would like to thank the Kyushu Defense Bureau, the members of the Japan Ground Self Defense Force, and the people of the local communities for allowing us to conduct our artillery training in your beautiful area. Once again, we were able to accomplish our training objectives and do so in a safe way, and we look forward to continuing that in these training events in the future. We have enjoyed our time here, and deeply appreciate the assistance and cooperation from the defense bureau, the local governments, and the citizens here during this training evolution. Our training here is vital to maintaining unit readiness and proficiency in order for us to support the intent of the U.S.-Japan Treaty of Mutual Cooperation and Security. I want to extend our sincere gratitude

to all those who assisted and coordinated with us during our training, and the Marines of 3/12 will continue to improve our abilities for when we all come together in the future for these events.

【仮訳】

地元、陸上自衛隊及び九州防衛局の皆様、あなた方のこの美しい地で砲撃訓練を行わせていただき、第12海兵連隊第3大隊を代表し感謝申し上げます。

今回も訓練の目的を達成、しかも安全裏にこれを達成することができました。

今後の移転砲撃訓練においても、この実績を継続したいと思います。

当地での滞在は楽しいものでした。この訓練展開の間、地元の皆様、地元自治体及び防衛局から受けた御支援、御協力に深く感謝申し上げます。

当地で行う訓練は、我々が日米相互協力及び安全保障条約の実効性を支えるのに必要な部隊の練度及び即応態勢を維持するのに欠かせないものです。

訓練期間中御支援や我々との調整に当たっていただいたすべての方々に衷心より感謝申し上げるとともに、今後この訓練で再び御一緒できるための、第12海兵連隊第3大隊の海兵隊員は、これからも引き続き能力の研鑽に努める所存です。

# 1 日出生台演習場において



左右共：訓練公開時  
 左：装備品の説明を行う大隊長ら  
 右：訓練の内容等を説明する大隊長ら



日出生台演習場（大分県）において、平成10年度以降8回目となる沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施に伴う訓練が実施されました。

訓練部隊（沖縄駐留の第12海兵連隊第3大隊）は、中隊レベル、人員約160名、車両約40両、砲4門で、1月30日、先発隊が、2月1日に本隊が到着し訓練の準備が始まりました。

到着後の2月2日には第3大隊長のミアガニー中佐が由布市長、九重町長、玖珠町長を表敬訪問し、2月4日には、ミアガニー中佐と当局の松本現地対策本部長が出席し、地元自治体関係者及び報道関係者約40名に対してブリーフィングが行われました。

また、実弾射撃期間中の2月9日には、地元自治体関係者約40名及び報道関係者約30名に訓練の様子が公開され、参加者は、砲陣地近くでミアガニー中佐による訓練内容及び装備品などの説明を受けた後、155ミリりゅう弾砲の射撃を見学しました。

訓練終了後の2月12日には、近隣の児童養護施設で子供達と交流を深め、2月14日には、日本文化に対し理解を深めるため日田市、九重町、玖珠町を巡る文化ツアーが行われました。



# 米海兵隊実弾射撃訓練を実施



今回の訓練は、2月7日から11日までの5日間、氷点下の厳しい寒さが続く中、実弾射撃訓練が実施され、2月19日に訓練部隊が沖縄に向け出発し全ての日程を終了しました。

九州防衛局では、訓練の円滑な実施を図るため、局内に廣瀬局長を本部長とする九州防衛局米海兵隊実弾射撃訓練実施対策本部を設置し、また、現地には本隊到着前の1月29日、演習場内しょう舎地区に米海兵隊実弾射撃訓練現地対策本部を置き、地元自治体等との連絡調整や、演習場周辺の巡回などを行い、地元住民の安全・安心を確保するとともに訓練が安全かつ円滑に実施できるよう対応しました。

## 【日出生台演習場における米海兵隊実弾射撃訓練の概要】

- 1月29日 九州防衛局現地対策本部を開設
- 1月30日 訓練部隊の先発隊が日出生台演習場に到着
- 2月 1日 訓練部隊の本隊が日出生台演習場に到着
- 2月 2日 第12海兵連隊第3大隊長が関係自治体を表敬訪問
- 2月 4日 関係自治体、報道関係者を対象にブリーフィングを実施
- 2月 7日 射撃訓練開始
- 2月 9日 訓練公開
- 2月11日 射撃訓練終了（射撃日数5日間）
- 2月18日 訓練部隊の本隊が日出生台演習場を出発
- 2月19日 訓練部隊の後発隊が日出生台演習場を出発、九州防衛局現地対策本部を閉所

## 【訓練実施部隊の概要】

- 参加部隊：第12海兵連隊第3大隊（中隊レベル）
- 人員：約160名
- 車 輛：約 40両
- 砲 数： 4門

# 実弾射撃訓練以外の米海兵隊員の行動

～日出生台演習場における沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施より～



由布市長を表敬訪問する  
ミアガニー大隊長

## 関係1市2町首長表敬

・日出生台演習場へ到着したミアガニー大隊長らは、2月2日に関係する由布市長、九重町長及び玖珠町長を表敬訪問しました。（写真左）

## ボランティア活動等



・大分県内の児童福祉施設を訪れ児童の前で歌やダンスを披露したり、一緒に遊具などで遊んだりして楽しい一日を児童らとともに過ごしました。

## ブリーフィング

・2月4日、ミアガニー大隊長と松本現地対策本部長が出席し、地元自治体関係者及び報道関係者に対してブリーフィングが行われました。（写真下）



## 2 北澤俊美防衛大臣 九州地区管内視察

北澤防衛大臣は、1月18日（火）、19日（水）の2日間、九州地区を訪れ、航空自衛隊築城基地、日出生台演習場、健軍駐屯地及び海上自衛隊大村地区を視察しました。

19日（水）の日出生台演習場視察では、北澤防衛大臣は、始めに、日出生台演習場の全景が見渡せる場所で廣瀬九州防衛局長から概況説明を受けながら演習場の現況を視察しました。

その後、北澤防衛大臣は、同演習場内しょう舎地区の兵員待機施設へ移動し施設内部を視察した後、健軍駐屯地へ向かいました。



日出生台演習場全景を視察する防衛大臣



陸上自衛隊健軍駐屯地を視察する防衛大臣

# 3 第16回 防衛問題セミナー



防衛省防衛政策局次長  
黒江 哲郎



北九州市立大学准教授  
戸崎 仁司



質問する北九州市立大学の学生

平成23年2月22日（火）、福岡県北九州市の毎日西部会館において、第16回防衛問題セミナーを開催しました。

今回のセミナーは、昨年12月17日に閣議決定された「平成23年度以降に係る防衛計画の大綱について」というテーマで行いました。

最初に局長が挨拶した後、防衛省防衛政策局黒江哲郎（くろえてつろう）次長が、新たな防衛計画の大綱に関し、大綱の基本理念やこれまでの経緯、大綱の構成、我が国周辺の安全保障環境等について説明を行いました。

次に、北九州市立大学基盤教育センター 戸崎仁司（とまきひとし）准教授から「分かりやすい防衛大綱の解説」と題して、新大綱に記されている動的防衛力や前回の大綱（平成16年12月閣議決定）以降の我が国の周辺状況の変化等について、スライドを使った詳しい説明がありました。

また、今回は新たな試みとして、安全保障などについて勉強をしている北九州市立大学の学生5名が、新大綱に関する質問を行い、黒江防衛政策局次長が回答するという「大学生と防衛省の質疑応答」を行いました。大学生からは、「動的防衛力、弾道ミサイル防衛、我が国と周辺諸国との信頼関係の醸成、北方への対応、新しい脅威の位置づけ」に関する質問が出され、黒江次長からていねいな説明がなされました。来場された方々からは、「学生も防衛問題に関心を持っていることに感心した。」という声も聞かれました。

大学生からの質疑応答に引き続き、セミナー参加者との質問、応答が行われ、熱い議論が交わされた結果、当初の予定時刻よりも30分ほど長くなりましたが、参加された方々は、スライドや配布された資料に目を通しながら、熱心に聞き入っていました。

九州防衛局では、防衛省の諸施策について、より多くの方々から理解と協力が得られるよう、今後も各地でセミナー等を開催する予定です。

# 平成22年度 4 日米共同方面隊指揮所演習

日米共同方面隊指揮所演習は、日米共同で指揮所内での指揮官及び幕僚の活動を演練するもので、通称YS（ヤマサクラ）と呼ばれ、在日米陸軍のシンボルである富士「山」と陸上自衛隊のシンボルである「桜」からきています。

この「YS」は昭和57年から29年にわたり継続されており、毎年2回（米側、日本側1回ずつ）の今回59回目として、西方では5年ぶりの4回目としての実施となりました。

演習は、陸上自衛隊の方面総監部と米陸軍の司令部等が相互の調整要領及びそれぞれの司令部での指揮官及び幕僚が行う各種活動を、コンピューター上で訓練するものです。陸自は統裁官の木崎俊造西部方面総監以下、西部方面総監部、第4・第8師団など約4,500名、米側はベンジャミン・R・ミクソン太平洋陸軍司令官以下、同陸軍、在日米陸軍司令部、第3海兵師団など約1,500名が参加して1月20日から2月3日まで健軍駐屯地等で行われました。

他方、演習期間中の余暇を利用して、米兵達は、熊本市内の史跡巡り、華道や書道などの日本文化の交流や保育園へ訪問してのボランティア活動などを行いました。

■ 期間：平成23年1月20日（木）～2月3日（木）

■ 場所：健軍駐屯地等

■ 実施部隊：（1）自衛隊側  
ア 統裁官 西部方面総監 陸将 木崎 俊造  
イ 実施部隊 西部方面隊等 約4,500名

（2）米軍側  
ア 統裁官 太平洋陸軍司令官 陸軍中將 ベンジャミン・R・ミクソン  
イ 実施部隊 太平洋陸軍司令部、第1軍団、在日米陸軍司令部、第3海兵師団等 約1,500名

写真下：共同訓練開始式



写真下：共同訓練開始式



写真右：熊本市内の保育園を訪問し園児らと楽しい時間を過ごす米兵達  
写真左：熊本県内史跡を巡る米兵達



## 地方防衛局の参加状況

西部方面隊との連携のために、今回初めて、九州防衛局から22名の職員、沖縄防衛局から8名の職員が参加し、計30名の局間を越えた体制で演習に臨みました。

本訓練は、24時間体制で実施し、駐屯地内グラウンドに設置されたテントブースにおいて、真冬の寒波の中、なれないテントの執務室に凍えながらの訓練となりました。

演習において九州防衛局は、西部方面隊及び米軍と綿密な調整を実施し、各種手続き等の確認を行いました。

演習は、局職員が武力攻撃事態時における局の任務を組織的かつ効率的に演練する最良の場であり、多大なる成果を収め、無事終了しました。

写真：編成完結式に整列する九州防衛局職員



## “日米共同方面隊指揮所演習に参加して”

第59回日米共同方面隊指揮所演習（通称 YS-59）に渉外要員として参加しました。今回から演習場内に地方防衛局の野営が設けられ、地方防衛局も訓練の一員であるという位置づけが一層強まりました。

5日連続の夜勤も体験し、寒さや眠気とも闘いながらの2週間でしたが、この1年間勉強させていただいた成果だと思い、時には米軍・陸自の担当者との間で揉まれつつ、終盤は体が重く感じることもあったものの、無事にやり遂げることができました。

また、訓練外の時間も通訳として顔を出す機会があり、今まで知らなかった“social”（懇親会）という表現を学んだり、いい勉強になりました。今後は本演習で得た絆や経験を大切にして、違った角度から日々の業務に当たれるよう、努力を重ねていきたいと思っております。



九州防衛局佐世保防衛事務所  
施設課 施設第2係 平田剛士

# Information

## アスベストに係る健康相談窓口について

九州防衛局では、アスベスト（石綿）に係る在日米軍従業員等の皆様の健康相談窓口を開設しております。アスベスト（石綿）に係る健康相談を希望される方は、下記に掲げる最寄りの窓口にご相談下さい。

- 対象者 在日米軍従業員及び在日米軍基地に勤務され退職された方
- 相談内容 アスベスト（石綿）に関すること
  - (例) ●ご自身の健康不良や健康不安に関すること
  - 労災補償制度及び健康管理手帳制度に関すること
  - 相談機関の紹介に関すること等

**アスベスト（石綿）による健康被害に係る健康相談窓口を開設しています。**

相談窓口

- 九州防衛局 総務部労務対策官  
〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東 2-10-7 福岡第2合同庁舎  
電話：092-483-8814
- 佐世保防衛事務所 首席労務対策調査専門官  
〒857-0041 長崎県佐世保市木場田町 2-19 佐世保合同庁舎  
電話：0956-23-3157
- 独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構 佐世保支部  
〒857-0056 長崎県佐世保市平瀬町 3-1  
電話：0956-23-7191

## 平成23年度防衛省職員採用試験のご案内

	試験の程度	試験区分	受験資格	申込用紙等配付開始日	受付期間	第1次試験日	第1次合格者発表日	第2次試験日	第2次合格者発表日
I 種 試 験	大学卒業程度 研究職俸給表2級の係員を採用するための試験	心 理 学 化 生 物 学 電 機 機 械 造 船 航 空	1 昭和53年4月2日～平成2年4月1日 生まれの者	2 ・ 18 (金)	4 ・ 1 (金)	5 ・ 8 (日)	6 ・ 3 (金)	6 月 中 旬	7 ・ 1 (金)
			2 平成2年4月2日以降生まれの者で次に掲げる者 (1) 大学を卒業した者及び平成24年3月までに大学を卒業する見込みの者 (2) 防衛省が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者						
II 種 試 験	大学卒業程度 行政職俸給表(一)1級の係員等を採用するための試験	行 政 語 学 (英 語) 語 学 (中 国 語) 国 際 関 係 (英 語) 国 際 関 係 (ロ シ ア 語) 国 際 関 係 (中 国 語) 数 学 電 気 ・ 電 子 機 械 土 建 築	1 昭和57年4月2日～平成2年4月1日 生まれの者	4 ・ 11 (月)	7 ・ 1 (金)	9 ・ 10 (日)	10 ・ 17 (月)	10 月 下 旬	11 ・ 18 (金)
			2 平成2年4月2日以降生まれの者で次に掲げる者 (1) 大学、短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び平成24年3月までに大学、短期大学又は高等専門学校を卒業する見込みの者 (2) 防衛省が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者						
III 種 試 験	高校卒業程度 行政職俸給表(一)1級の係員を採用するための試験	一 般 事 務 電 機 機 械 土 建 築	平成2年4月2日～平成6年4月1日 生まれの者	5 ・ 16 (月)	7 ・ 1 (金)	9 ・ 25 (日)	10 ・ 17 (月)	10 月 下 旬	11 ・ 18 (金)

注：1 採用時の給与は、人事院が行う国家公務員採用I種・II種・III種試験合格者と同じです。

2 事務系及び一部の技術系のI種職員の採用は、人事院が行う国家公務員採用I種試験合格者の中から行いますので、細部は防衛省ホームページ (<http://www.mod.go.jp/>) などで確認してください。

3 I種及びII種試験の受付期間が短いので、ご注意ください。

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

(平日は17時15分から翌朝8時30分まで、休日は終日)  
(上記以外の時間帯は各課室直通電話へご連絡下さい)

夜間及び休日の連絡先

電話：(092) 483-8832  
FAX：(092) 472-1959

### 編集後記

昨年4月M係長と二人三脚での広報誌の編集に携わるようになり、今回で何とか4回目の発行に漕ぎ着けました。振り返ると試行錯誤の連続で、内心憔悴たる思いを禁じ得ません。

新年度は更なる紙面の向上に努めますので、

よろしくお願ひします。